

「中小企業応援士」に選出

三重化学工業
山川社長 中小機構から県内で唯一

【三重】三重化学工業（本社松阪市大口町、山川大輔社長）に15日、中小企業基盤整備機構中部本部の茂木文雄本部長らが訪れ、山川社長に「中小企業応援士」の委嘱状を手渡した。22年度は全国で41人に委嘱され、三重県内では山川社長が唯一の選出となった。

中小企業応援士は、2019年度に創設された。中小機構や地域の支援機関と協力して、地域経済の発展と中小・小規模事業者の活躍を応援する。

委嘱状の授与式で、山川社長は「中小企業はもともと

委嘱状を手にする山川社長（右）と茂木本部長



連携してもらいたい。松阪から他の企業を巻き込みながら

共に発展していきたい。責任は重大」と抱負を語った。

茂木本部長は「力強い言葉を頂いた」と述べ、同社が2020年7月に立ち上げた多様な人材と連携するオンライン「ミエラボ」の取り組みに期待した。